

潔行集

020614-000-6

特53-478

潔行集 第1

平澤 均治 / 編

M37

ABI-0429



R-74

PERSONAL  
PURITY.

日  
督  
教  
本  
青  
年  
會  
同  
盟  
本  
部  
出  
版



潔  
行  
集

223

506

序

潔行第一集成る、今之を世に公にせんとするに當り、  
 心中實に一個の忍びざる感あり、然りと雖手淫の弊、  
 殆んど公然の秘密と謂ふべく、其普く行はるゝ實に驚く  
 餘あり、余一日此原書を繙く、劈頭忽ち嘗て余の讀まざる一  
 字あり、傍に在る一少年に乞ひ、余が爲めに字書を繰らんと  
 を以てす、然れども其友讀書に餘念なきを見、余自ら字書を  
 繰り、其譯を知り、窃に謂らく、余自ら字書を繰りしを欣ぶと、  
 然るに偶々此原書を他に貸さんとするに當り、彼の英字の  
 意味を知るや、否やを問ふ、其人曰く、然りと其後四五の友人



潔行集第一序

に同様の問ひを以てしたり而して皆之を知れり、余茲に於て大に恐れ又以て此惡習の世に普きを悟り遂に本會に於て此書を譯出するの必要あるを知りたり希くば此小冊子遍く青年及び其父兄たるもの、手に達し以て大に青年輩を警醒し青年間に私行上の清潔を保つを得ば本會の欣び之に過ぐるものなし、尙青年學生衛生に關しては續々後編を出版すべければ希くば閱覽を賜へ、

此書元此れ米人某の米國青年及び其父兄に對して演說せしものなり今之を邦語に譯するに當り讀者の便を圖りて恰も我國人に對して演述せしもの、如くに改竄したり原著者に對する罪重しと雖然も其期する處の目的に至りて

序 一 第 集 行 潔

は必ずや著者の欣諾を得べしと信するなり、  
茲に付言す。

明治二十五年十一月

東京基督教徒青年會幹事

謹 識

一 第 集 行 潔

潔行集第一

文明各國に於て教育の普及せることは吾人の常に誇稱する所にして各人の徳性を涵養し其心を發達せしめんが爲め、年々莫大(米國のみにて二百萬弗)の金額を投ずるは敢て吝むべきにあらざれ共青年をして清潔の行を全うせしめんがために手淫の人身に及ぼすべき危害と之に伴ふ不潔の例證を指摘して彼輩を誨諭するの責任は果して何人に歸すべきものなるや、これ吾人の熟慮深考すべき問題なりとす。

教會の牧師は壇上に立て斯る事を訓誨するを得ず何となれば牧師は毎つねに男女の兩性に向つて説話せざるを得ざるものなるが故に斯る事に關して如何に婉曲に説くと雖も其言ふ所は不体裁たるを免れざればなり、而して夫の學校の教師の如きもこれ等の事を德育外の問題なりとし措て顧みずとすれば、今此の重要な一事を教示するの任を誰人に向て求むべきや、寧ろ兩親をして之に當らしむるの外なきが如しと雖も、實際兩親にして斯る事を誨諭する者は極めて稀なるのみならず、手淫の害惡と其の恐るべき結果を生ずることを、平易に其兒子に諭し得る者は果して幾何ありや、彼の德育普ぬしと自稱する基督教國に於てすら其

父兄たる者は尙此事柄に關して概ね其義務を遁れ恬然顧ざるが如きは普通の事實なるを免かれざる也、此の如き父兄は唯此等の事を口外するを憚り、且之を其兒子に告ぐるを恐るゝが故に假令一方より其兒子をして善良なる青年たらしめんと切望し、常に道德の講話を聞かしむるも實に實功を奏せざるのみならず、徒らに聽者をして之を馬耳東風に附し去らしむるに過ぎざるなり。

夫れ此の如し、故に少年輩は彼の惡習を行ふに憚らず、倍々其汚風に染むに至らんとせり、見よ彼輩が學校の教場にて（米國の學校）手淫を行ふが如きは、敢て珍事とするに足らず、甚だしきに至りては、他の生徒の前に在て憚からず、其慾を

## 一 第 集 行 潔

遂ぐる者あり、現に合衆國に於ける一大州立學校に於ては、校長より生徒の股引ぐひんの兩側に「ポケット」を作るを禁せられたり、其惡習に浸染せるの深きこと思ふべし、而して此汚習に依りて生ずる害毒を思慮するとき、實に非常なるものあり、醫士の説に據れば手淫の爲に排洩する一匁の精液は、生血の四十匁を失ふに均しと豈恐るべきの至りならずや。余講者は一日友人の紹介により或る富豪の家を訪へり、我友人と此の富豪の夫人の談ずる處多くは十六歳と二十歳なる夫人の二人の息子に關する事柄のみなれば之を怪み、其後余は友人に彼夫人は何故に斯く自家の子息の事のみを多く談ずるやを問ひしに、君は彼の夫人が談話する事

## 一 第 集 行 潔

件を解し給はざりしにやとの反問を受けし時余は答へて然り彼等二人の青年の容貌を視、又其自から耻ぢ恐るゝ所あるが如き様子を觀て已に彼の夫人は其子息に付て憂慮する所以の一端を察する處ありと、茲に於て友人は語を次で曰く君の察知する處の如し、彼兄弟の外尙は一人の男子ありしが、手淫の爲に其身体を衰弱せしめ既に死去し、今日生存する二人も遠からず、彼の悲むべき覆轍を踏むに至らんと、噫々其父の有する巨萬の富も終に彼等をして生きて存へしむるに由なきか悲むべきの至りにあらずや。嘗て控訴院長米國たりし人にして今は基督教徒青年會の會長たる一貴紳あり、一夜シラキエースに於て余講者が演



説したる後聽衆に向て告て曰く、我未だ法律を研究せざる以前二年間癲狂院の管理者たりしが、院中の患者の過半は手淫の悪習を恣まゝにせしに依り遂に病を醸すに至れるもの也と、又ニッヂアルシー州の堪能なる某教師は數年間某州に於ける癲狂院の管理者たりしが此人の言に其院中の患者も十中の八九は手淫の醜習を恣にせしより、遂に其理性を失ひたる者にして、其患者の青年中に往々咽喉の脈管を切斷せんとして、剃刀を興へよと要求する者あり、乃ち是等の狂疾を發したる青年こそ最も墮落したる悪少年の運命なりと知らるゝなり。現今の體育は之を二十年前のものに比すれば、實に驚くべきの進歩をなせり、數多の體育學

校四方に起り之に備ふるに完美なる器具を以てし常に世人の好評を博せり。吾人は此種の好結果に對して基督教徒青年會に感謝せざるを得ず、何となれば教育の三大基礎の一たる體育に付ては、青年會實に之が卒先者となり、都府(米國)に於ける青年男女に對して之れが必要を獎勵したる者なればなり。然るに爰に人あり最好の體育學教に行きて、教授を受くると假定せんに、其人熱心體育に注意し體力の發達を期して勤勉する所あるも、他面に於て之を消耗すべき不潔の所行あらば、彼の勤勉果して其功ありや、又強壯健全の人たるを得べき乎、之れ智者を俟たずして明かなるところなり、何と

## 一 第 集 行 潔

なれば平常如何に刻苦して體育に汲々たるも、一瞬間の不潔なる行爲は、彼の百日の勤勉を一朝にして空しく水泡に歸せしむるものあればなり、寔に浩歎に堪へざるなり、況や此恐るべき悪事は日々進んで益其根底を深くするに於てをや、數年間能く其職に勉勵し忍耐己れに克ち終に社會に一好地位を得るに至りしものは、世間其人に乏しからず、今や青年諸君も亦是等の人々と同一の地位に達し、同一の富を得るのみならず、尙彼等より遙かに優れたる尊敬を受けんとを渴望せらるゝならん、然れども諸君にして陰かに手淫を行ひ其活氣を減損するときは、其企つる所の事業の如何に進歩せるにも拘らず、遂に其希望を放擲せざるを得ざ

## 一 第 集 行 潔

る悲境に陥る可し、癡狂院の管理をせし人の言に據るに、若し體力强壯にして精神力の適度を得たる時は此の悪習を行ふとも、腦髓を刺戟することなきも、獨り腦髓のみ勝れて其體虚弱なるときは、直に其体力を消耗するに至るべしと、或時東印度の一銀行家屋の偶然に倒れて、其の内在りし者に損害を與へたるとあり、今其原因を索ぬれば、微細の昆虫其柱に喰ひ入り、何の音響も發せず、絶へず其木心を喰ひ盡し、唯其上皮のみを残し柱をして全く空洞なるものたらしめ、遂に之を倒せしに依るなり、夫れ隠れたる腐敗は到底顯れずして止むべきに非ず、嘗て美麗なる家屋も打壞れたる時は其腐敗容易に衆目の注視する所となる、而して彼の

一 第 集 行 潔

不潔の行爲は、神より賦與せられたる種々の才能を埋没せしむるのみならず、終に此醜惡なる行爲を、其の人の面前に蔽ふこと能はざるに至る、況や總ての隱微を知らざる所なき神の靈前に於てをや。

醜行を叱正する談話の初まるに當り青年の席を離れて避くるものあるは珍しからず、其際能く注意して其容貌を熟視すれば、面色蒼白に變じ將に氣絶せんとするが如き景狀を呈はすとあり、何故斯の如く面容を變ずることある乎、試に醫士に質問せば、醫士は必ず明瞭に其理由を解説すべし、此種の疾病に罹りし青年は先に引例せし如く微小の白蟻が銀行の木材を喰ひ盡したると一般にして、其不潔なる習

一 第 集 行 潔

慣は、常に其活氣を消耗せしめ、遂に其心身までを傷害したるものなるべし、噫有爲の青年にして此の悪習に染み、中途挫折して其身を誤るに至る者の果して幾何ぞや。

古代に在ても手淫の危険なる結果を生ずるに關しては今日よりも尙能く之を熟知したるものあり、モローの言に據れば、古代コーカサス山に住する人民の中には、手淫の慾を恣まゝにしたるが爲めに、陰莖を傷害し其鬚は脱落し、其生殖器は用をなさざるに至り、戀愛の情も發するとなき、其聲は細微となり、其体力は消耗し智能も亦減少して、終には婦人の装をなし、婦人の業を執るに至る迄、柔弱となりしものありと、ヒポクレテイスは是等のスクテヤ人を稱して「ア

ナンドリー」と云ひ、且つ曰く彼等の愍然なる状態は、馬上に跨るとの過度なるより引起したる手淫に原因すと云へり、現今に在つても、ニッメキシコの「ペプロ、インディアン」中の「アヅテック」種族の子孫にして、「ムセラドス」と稱する種族あり、ドクトル、ハムモンドの此種族に關して言ふを聞けば、彼等の胸部と腹部は、巨大にして其四肢は柔軟、其生殖器は萎縮し、聲音は高くして細く濁りて明瞭ならず、其中に生來強壯なる筋骨を有したるものも、手淫の悪習に由て、希望もなく、能力もなきに至り、皆往時のスクテヤ人と均しく婦人の衣服を装ひ、婦人の業をなすに至るまで、勇壯の氣を消失したりと、然るに彼等の種族は此恐るべく厭ふべき状態に陥りし

者を指して、神聖なる者となし之を崇拜せりと。若し夫れ斯の如き悪習に沈める青年あり、其父兄に向つて何故に君は兒の危険に關して兒に訓誨し給はざりしや、斯かる重要な事實を、兒に教ゆるは、君の義務なるに何故躊躇し給ひしや、兒は君をこそ此世に於ける最良の忠告者と思ひたり、君こそ容易に兒を教誡し此の不潔の事をなすを防止せしめ給ふべきにと、云ふが如き訴を聞くにあらば、其父兄たる者何の語を以て之を辯解せんとするや、父の怠慢は其兒をして斯る不幸に陥らしめたるものにして其兒の訴る處は實に至當の理由あるものと云ふべし、故に學校にありては基督教を奉じ高尚なる思想を有する醫士を撰び、毎月一回少

## 一 第 集 行 潔

なくも半時間づゝなりとも其生徒に此の問題に關する一場の講話をなさしむることは、最緊要の事なるべし、殊に午後は生徒の課業も終りて他の誘惑を受け易ければ、此時を利用すること必要なり、而して苟も高潔なる思を有する人にして、此問題に關して青年に講話すべき機會を發見するときは、毫も躊躇することなく、進んで其害を説くは當然のことなりとす、又た方正なる少年或は又青年に向ひ呼吸器消化器等の問題よりも寧ろ生殖器に關する事柄を講説するに、何の憚る所あるべきや、ポロ曰く「潔き人には凡ての物きよし」〔提多書一ノ十五〕と至言と云ふべし。

手淫の如き不潔なる事件に關しては不品行なる青年及び

## 一 第 集 行 潔

極めて卑劣なる庸醫の詳に知るところなるを以て、彼等は常に他の潔白にして善良なる青年に、此不潔なる事柄を教へて止まざるに依り善良なる青年も、皆能く此の事を熟知するに至るべし、之れ寧ろ咎むべきにあらず、何となれば其父兄たる者にして果して能く豫め其兒に訓誨する所ありや、之れ最も父たる者の考ふべき所なりとす、今より殆んど五十年前以前米國に著名なる一人の政治家あり、深く感ずる所ありて、白地に其兒に訓誨するに手淫の危害を以てし且つ之を避くべき方法を示めしたりと、之れ實に人の父たるに耻ぢざる行爲にあらずや、世の父兄たる諸君が諸君の令息たる青年に訓誨し置くべき事柄にして、此より勝りて切

要なるもの何物かある、聖書に曰く「爾曹は神の殿にして神の靈なんぢらの中に在すことを知らざる乎、もし人神の殿を毀たば神かれを毀たん」〔哥前三ノ六十七〕と、果して然らば此殿を汚すべきものは手淫の外、更に之より太甚しきものあらざるなり。

茲に一の箴言あり、曰く「北風は雨を逐ひ怒れる顔はかげ言を云ふ舌を閉づ」と「然り怒れる顔は汚れたる談話をも止むる也、然れども世の青年にして、平氣に是等の汚れたる談話を聞く者あるのみならず甚しきに至ては傳道者又は教會の役員にても不潔なる談話を聽くとき、滿面笑を含み遂に彼等自身も之に類する談話をなすに憚らざるものあり、夫

一 第 集 行 潔

一 第 集 行 潔

れ世は斯の如く汚れたりせば、吾人は、如何にして此間に處すべきや自ら其身を聖賢の地位に置き、總て他人を見るに罪人の如くすべきや、決して然らず、然れども吾人の嚴守すべき一義務あるを忘るべからず、即ち此の類の談話に對して笑ふべからざること之なり、彼等如何に巧妙なる諧謔を以て談ずるも、我嚴然笑ふことをせざれば、其談話をなす者及び他の聽者も共に恐れて、恰も電光に射られたるの思をなし、後來容易に其得意の不潔談を試みざるに至らん、是れ商賣も買客なき市場には、商品を運搬せざると一般にして、嚴格なる言論を以て之に警誡を加ふるに比すれば、遙かに優りて効能ある方法にして、且其行爲は永く人の記憶に存



すべき教訓を他人に與るものと云ふべきなり、嘗て或る集會の席に一士官あり、貴婦人の列席なければこの前置を以て、徐々に不潔なる談話を試んとせしが將軍グラント氏亦其席に列りたるが、猶豫せずして「然れど多數の紳士の列席せらるゝを如何」と反駁したり是ぞ寔に不貞潔なる人の心腸を刺貫くべき利劍と云ふべし。

今若し假りに、手淫の恐るべき習慣が青年又は壯者に固着して、最早禁ずること能はずとせん乎、之を脱却せしむべき方法如何、今夫れ酒客の酒に溺れて之が奴隸たるの狀態を見よ、彼れ飽迄飲みて街路泥溝の差別なく、蹠々跟々として徘徊し、殆んど知覺を失ひたるものゝ如し、之れ實に飲酒の

惡習に沈溺して既に己れを制し得ざるものにあらずや、夫れ飲酒の惡習に沈溺するものにして斯の如しとせば、ドクトル、ヘアドが「淫慾は人間の有する最も強き情慾なり」と云ふが如き、惡習に沈溺するに於ては之を禁制すること實に難しと云ふべし、故に最初不潔なる想像の吾人の心を襲ひ來るとき、其勢頗る猛烈にして容易に之を防ぐこと能はざるが如きも、既に其心中に入りたることを知らば、直に之を逐斥して心中に駐むべからず、爰に人あり他人を誘惑して曰く某街に住する寶玉商の家は巨に大なる金庫を有せり、今夜共に行きて之を奪はざるや余は之を壞すべき器械を有せりと云はゞ如何、是れ盜賊の業をなさんと勸むるもの

## 一 第 集 行 潔

なり、吾人は斯の如き誘惑を吾人の心中より驅逐すべきは論を俟たず更らに其誘惑者を強く擯斥して其惡計を訴へ之を警吏に引渡すべし、これと均しく若し不潔なる思想にして、吾人の心中に入り來らば、速かに之を逐斥すべし、之れ安全なる方法なり、否らずして躊躇せば極めて危険にして忽ち不潔なる情慾の擒虜とならん、然れども試に自己の心狀を顧みれば情慾を禁制するに如何にも其力の弱きを發見し、又情慾の奴隸たるの容易なるを知得するに至るべし、故に吾人は己の慾を制せん爲めには、吾人よりも一層大なる力を借ることの必要を知らん、是れ如何なる力ぞ、又何處より之を得べきや、創世記にヨセフは其容顏美麗なりしか

## 一 第 集 行 潔

ば其主人の妻ヨセフを誘ふて衾を同ふせんことを強請せしもヨセフは斷然之を斥け「我いかで此おほいなる惡をなして神に罪ををかすとを得んや」創世記三十九章九節と云へりとあり、何ぞ其の行の剛毅にして其言の敬虔なるや、宜なり吾人は神ヨセフと共に在し給へりといへる一節を其後に見るを、故に吾人にして能く不潔の行爲を去りて高尚なる生涯を送らんと欲せば皇天上帝を畏れ之れが祐助を仰がざるべからず。

吾人若し眞正に神と共に在りて之れが保護を受くる時は、情慾の誘惑を制し得ること容易なるべし、去れば其克己の力に乏しき所以のものは職として神の祐助を充分に受く

## 一 第 集 行 潔

ること能はざるに由る、古來アブラハム、ヨセフ、モーセ、ダビデ、ヨブ、ダニール、よりポロに至るまで、凡そ聖書中に現はる、剛毅の人士及び、今代近世の英傑もルーテル、クロンウエル、グラッドストーンの如き皆神に倚頼して之が保護を得たる人々ならざるはなし我國(合衆國)に於て大統領の職を奉じたる人の中に就て最大なるは何人なりやと問はゞ必ずや一齊にワシントン、リンコルン、グラント也と答ふべし、曾て善良なる一婦人あり脱營兵の命乞をなさんとして一日ニウーバーフなるワシントンの本營に赴きけるととき大將ワシントンは家族の爲に祈禱しつつあるを見たりと此習慣は大將が結婚後絶へず勉めし所也又リンコルンは自由

## 一 第 集 行 潔

に神と交通を得んが爲に常に人よりも半時間早く起き出でたりといふ、又グラント大將はマウント、マツクグレゴルに在りて死生の間日々を送りしが其戦場に出づるに先だち戦勝を神に祈らざることばなかりしと云ふ是れ等豪傑の士はみな己を卑くし謙讓宛も小兒の如くありしなり、吾人も亦之に倣はん然れば必ずや其需むる所の力を得るに至るべし。

此不潔なる誘惑を防ぐの方法を研究するは新たなる問題にあらずしてオックスフォード及ハイデルベルヒ其他歐洲の有名なる大學に在る経験あり且つ誠實なる學者にして深く此事を研究せしものあり彼等は精神模糊たる人は

## 一 第 集 行 潔

即ち此誘惑に陥り易き者なることを發見したりと斯かる種類の人は毎日六七時間勉學の爲めに思想を凝して先づ腦髓を疲勞せしめざるべからず且其身体の健康を得んが爲めに充分の勞働をなすべし斯くして直に眠に就き熟睡し活潑に起き再び前日の業をなせば或は誘惑に陥いることなきを得ん此等は彼等に對して極めて上策なりとす、然れども單に是等の方法のみを以て未だ誘惑に打勝つと能はざるは皆能く人の知る所なり此場合に際して「忠實に求むる者には何物をも與へん」と約束をなし給へる神の祐助を得ることは極めて緊要なりと云ふべし。

年齒稍長じて壯年の齡に達すれば尙一層甚しき誘惑を受くることあるべし則ち不潔なる婦人に接することは是なり、而して吾人を圍繞する惡友は自ら放蕩の境界に慣れたるを誇るのみならず一種の庸醫の如きは男子の時々婦人に通ずるは至當にして身体の健康を維持する方法に適し毫も危害の恐れあることなく時々夢精を漏すが如きは反て甚しき害ありと主張するものあり是れ大に事實と相反するの妄説なり假令ひ或る醫師は此事を以て眞實なりとするも他の尊敬すべき數多の醫士は此説の偽なる所以を辯證して且つ云ふ夢精は造化自然の妙理によりて洩らすものにて益ありとも害なしと而して不潔の婦人に接するの危険なるは彼の放蕩漢の頰又頸に發する梅毒の醜態を

## 一 第 集 行 潔

## 一 第 集 行 潔

表はすを見て好證なりと知るべし余(演者)は一日温厚にして鋭敏なる一青年に邂逅せることあり而して或人余に告げて云ふ此の青年は數百萬の遺産を譲り受けたりと余其青年の幸ひなる運命を享くことを聞くと同時に其青年の面部に梅毒の發したるを見たり嗚呼此青年にして自ら顔面に發したる腫物の性質に心付たるときは其胸中如何なる感覺を起したりや、又其の父の生涯來歴を考へ來りて如何なる感情を生じたるならん多額の遺産は以て其遺傳の病毒を償ふものと考へ得しや嗚呼是れ實に十誠中に教へられたる父の罪は三代又は四代の子孫に迄及ぶべしとの誠を犯したる結果と云ふべし豈に悲むべきの限りならずや。」

彼のエルサレムの牆壁に上りて癩病者の群集する所を臨めば其中に美麗なる兒童の遊戲するを見ん此兒童の美麗なるは世界に比類なしと雖も彼等生長したる時に於て其容貌は何時か乳白色に變じ復治し難き痼疾となるなり而して此痼疾の原因を推究すれば恐くば其祖先の中に梅毒を病みし者あるに因るなるべし。

大凡聖書の中に於ては不潔なる婦人と交際することに関する些少の事と雖も大なる注意を惹起せざるはなし又何處に於ても平易に淫奔者と姦淫を行ふ者の危害を指示せり聖書に曰く「爾の家は陰府よみの途にして死の室に下り行く」(箴言七ノ二十七)凡てかれに行く者は歸らず(箴言二ノ十九)

## 一 第 集 行 潔

## 一 第 集 行 潔

「その客は陰府のふかき處にあるとを是等の人は知らざるなり」箴言九ノ十八「爾曹みづから欺く勿れ凡て淫を行ひ又は姦淫をなす者は神の國を嗣ぐとを得ざるを知らざるか」(哥前六ノ九)と、人ありて直に滅亡に就んが爲め旅行券を得んと希望せば之に告て云はん不潔なる女子に狎るゝこそ乃ち其券紙を得べき道なれと神は決して斯かる不潔を容し給はざるべし又他の物に超へて神の忌嫌ひ給ふ事ありとせば乃ち此の一事ならんソドム、ゴモラを見よ執拗にも不正なる淫事に耽たるが爲に俄に火を以て焼き盡されたり彼のポムペイ府がヴェシユヅ井ヤスより噴火したる燒石の爲に全く埋没して殆んど二千年間地下に在りしが前

## 一 第 集 行 潔

年同府の存在せしと思ふ部分を開掘せしに不潔なる圖畫及び彫刻の多く其家の壁上に在ることを發見したりと奚ぞ知らん、此市府は神の怒に觸れて滅亡したるものに非ざるなきを。

然らば則ち男子の爲すべき道は如何、婚姻の禮を了るまでは決して婦人に近づく可からず若し其心中に不潔なる思想を蓄へざれば色慾も亦自ら勃興することなかるべし、最初に當ては微々たる不潔なる思想も漸次進歩して遂に其身を情慾の制御するに任せ自ら好んで之が奴隸たるを甘んずるに至るべし、然れどもヨセフの寸時も躊躇せず誘惑者の手に其衣を殘して逃れたるが如く速に其心中より不

潔なる思想を逐斥し心身共に活潑にして勤勉に其業を執れば乃ち神の祐助に依りて危険を免るゝとを得べし、往時日耳曼人の中に男子二十五歳に達せざれば結婚をなさず完全に清潔を守るべきを規則とせし種族ありしが是れ蓋し其心身の力の充分發達せざるに先て之を破壊せざらんと勤めたるなり此種族は骨格偉大に力厭まで強く秀麗なる男子となりて遙かに他の種族に超越したるものなりしと云ふ今畜馬を業とする人の言ふ所を聞けば未だ充分の發育を遂げざる牡馬を種馬とし交尾せしむるも充分成長を遂げたる牡馬を種馬として得るが如き良馬を産する能はずと然らば則ち觀念を清潔にし吾人自身に對するの義

務及び其兒女に對するの義務を重んじ神に對するの道及び其誠を遵奉し永遠の救を得べき望を抱くが如きは吾人の行路をして全く單一に且又平坦ならしむるものなり是れ實に汚れなき潔白なる生活なり、吾人の自重心と之に依りて生ずる氣慨及び其交友より受くる尊敬の如き又神の聖旨に従て自己の行爲をなすとの感覺は吾人克己の困難なるに報ひて餘りあるものなり、基督曰く「心の清き者は福なり其人は神を見ることを得べければなり」馬太五ノ八「吾人は己れが善事をなすべき力を得るに至るまでには一ヶ月間否一ヶ年間前より其思想、言語及び行爲に付て清潔なる生活をなすことを必要とすべし、吾人が果して潔白なる言語

をなし潔白なる舉動の人なるかは常に吾人と交際を結んで最も親密なる友人の直に覺知する所而して吾人が凡ての事に於て潔白なれば知らず識らず善事を爲すの力を得つゝあるものなり、我救主の最後の言に曰く「徧く世界を廻めぐりて凡ての人に福音を宣傳のべつたへよ」馬可十六ノ十五と主が此一大進軍の命令を下し給ひしは十二の使徒にも劣らざる真正の基督教徒に對して皆適用せらるべきものなり、而して吾人が此主の大命を奉ずるには各其從事する所の業務を捨て其居る所の地位を去るを要せず其業務に従事しつゝ機會あらば適當なる言語を以て神の道を傳ふべく常に言語を以てするのみならず潔白にして咎むる所なき生活をな

すことは更に道を傳ふるに於て有力なるべし、吾人は此方法を以て他人を導き又之を以て一層貴重なる働きの方法として靈魂の救はるべき爲に盡力せざるを得ず。茲に尙ほ述べ置くべき必要なる一事あり、設令ば甲某あり乙某の家を訪ひ其母及び妻君を初とし家内團欒して朝餐の卓に就ける側に坐し或は離婚されたる人の醜事を語り不潔にして厭忌すべき説話をなすことありとせば其人忽ち叱責の聲と共に其家を追ひ退けられざるを得ざるべく、少しく躊躇すれば強ひて戸外に突き出ださるゝの不幸を招かん然るに茲に新聞紙あり千百人の共食する卓上に最も不潔なる説話を傳播して自國の淫行を搜索暴露するを



以て足れりとせず遠き外國の同種の醜聞を探り出し之を各家の内に傳ふる者あらば之を寛恕し置て可ならんか此の如き新聞紙は吾人斷じて購讀すべからず然れども世は實に汚れたるなり斯かる猥褻なる記事を好む者の多きを如何せん誠に新聞記者にして近傍の妓樓に行き悉く其見聞する所を以て紙上に掲載すれば忽ち此種の新聞を愛讀する多くの看客を得べし然れども潔白なる男女は決して斯かる猥褻なる記事を好まざれば別に全く清潔なる新聞紙を發兌して最も嶄新にして興味ある記事を書き之を其紙上に掲載せば清潔なる人々の需用に供することを得べく彼の猥褻記者をして其發兌する新聞紙を廢業するの止

を得ざるに至らしめん斯くせば我國に於ける私行上の清潔は從來に倍して進歩の狀を呈するに至らん。  
 今や世界の青年會は貴重なる働をなしつゝあるなり今其働の好例の一を示さんか、田舎の青年にして其職を得ん爲めに都府(例へば紐育倫敦)の如き市街に来るものあらんに彼は貧困の爲めに極めて下等なる下宿屋に居らざるを得ず且彼を慰問し彼の爲めに周旋の勞を取る一の友なし此時に當りて彼れは心中安からず只管他よりの助けを得んことを望めり故に偶々放佚なる青年等の彼れと交はりを結ばんことを言ふや彼の青年は欣びて彼等と結び彼等が猥褻なる場所に誘導し興行物を見んと伴ひ行く時に當つ

## 一 第 集 行 潔

ては其青年の心中未だ少しも己れを誘ふ友等の性質の如何を知らず又其誘惑たるを感ぜざる也、故に若し白地あからさまに猥褻なる場所に行かんことを勧めんか青年は忽ち之を拒絶するならん青年は決して不潔なる場所に行くを好むものに非ず、何となれば彼が家庭に於て受けたる教育は万事に於て彼が心の先入主となり彼を善き方に導くべきを如何せん然れども此都府の事情に不案内にして萬事に慣れざるが爲めに誘惑者は此時に乗じて其良友なるが如き温和なる容貌を示し案内者となりて彼を誘ふべし然るに恰も好し基督教徒青年會は之が保護者となりて之が爲に盡力し彼を適當なる俱樂部の家屋に導き毎月些少の入費を以

## 一 第 集 行 潔

て食事をなさしめ體操の遊戯を教へて身體を強壯ならしめ其心性を修練せしめ新聞雜誌を讀ましめ數千の書籍を備へて必要なる智識を得せしめ或は勸話をなし或は遊戯を勧め時に或は講義を聴かしめ音樂會に赴かしめ其地位を失ふの不幸に際會したる者あらば爲に相應の地位を周旋するとあり而して特に貴重なる靈魂を救はんが爲には直接に其計畫をもなせり實に青年會の働きや一方に於ては教會の好伴者となり一方に於ては世の青年を教化して之を基督の王國に導くの門戸となり青年をして私行上の清潔を保たしむるに少なからざる便益を與ふ青年會の働や大且つ貴きものと云ふべし。

## 一 第 集 行 潔

青年の感想を清め之に貴き希望を與ふるには品行端正清潔にして志操高潔なる婦人の言語動作は大なる力あるものと云ふべし、已に世上の實狀に經驗を有し人情の實相を辨へ青年に對し母或は姉の心あり誠に助けなき青年の有様を察し得る高潔なる婦人に依りて不潔なる思想を排斥し奮發神聖なる希望を惹起したる青年は吾人の多く見る處なり、夫然り基督教青年會にして一層進んで其事業を擴張し青年を「クリスマスチャン、ホーム」に誘導し青年をして倍々其良感化を受けしむる事を得ば何の幸福か之に如ん、シラキッ  
ースに於ては基督教徒青年會を助くる爲の婦人會あり其會員の數は既に四十に達し之に頗る活潑なる貴婦人あり

## 一 第 集 行 潔

其他「ボルチモア」に於ても同じく七十五人を有す余は一夕壯麗なる會館に於て優美なる數百の令嬢の相會して青年會の委員を饗應し之を慰むるを見たり此の如くなるを以て青年の生活は自然に活潑爽快となり喜び勇んで其業に従事することを得るのみならず多數の青年をして彼の詩仙「テンニソンの歌ひし詩句の眞意を實歷するに至らしめん詩に曰く

乙女戀ふる情より

かゝることのみ學ぶべし

けだかき心志あるはまた

尊き言 禮の道

— 潔行集第一 —

まこと  
はまれ  
眞實の譽 眞理など  
なべての道のやちまたを  
わけゆくすべをねもごろに  
教ふることこそめでたけれ

潔行集第一終

明治三十七年六月廿九日印刷  
明治三十七年七月三日發行

(定價參見)

編輯人兼  
發行人

東京市神田區猿樂町三丁目三番地

平 澤 均 治

印刷者

横濱市太田町五丁目八十七番地

村 岡 平 吉

印刷所

横濱市山下町八十一番地

福音印刷合資會社

發行所

東京市神田區美土代町三丁目三番地

日本基督教青年會同盟本部

日本基督教青年會同盟本部出版書目

ジョン、アール、モット氏著

一 靈性進歩ノ爲聖書研究

一部 (郵税十部) 金 三 錢  
マデ二錢

ジョン、アール、モット氏著

一 秘密ナル祈禱ノ生涯

一部 (郵税十部) 金 三 錢  
マデ二錢

ジー、エム、フ井シャー氏著

一 聖書研究綱目パウロ傳

一部 (郵 稅) 金 拾 錢  
二

内村鑑三氏著

一 基督教信徒の特徴

一部 (郵税五部) 金 三 錢  
マデ二錢

ジョージ、チ、ラッド氏講演

一 基督教の要性

一部 (郵税五部) 和文金四錢  
マデ二錢 英文金六錢

學生好讀書料

一 The Fact of Christ by Carnegie Simpson.

一部 定價 二十 錢  
郵 稅 四 錢

一 Christians of Reality by John R. Mott.

一部 定價 四十五 錢  
郵 稅 六 錢

右はモット氏の英語演説六回を集めたる者なり

R-74

一 青年の誘惑(石川林四郎氏通譯) 一部 定價 二十 錢

一 個人傳道(北原義雄氏譯) 一部 定價 四 錢  
郵稅 五部迄三錢

一 ゴルドン將軍傳(徳富健次郎氏著) 一部 定價 共五十 錢  
郵稅

一 リビングストーン傳(有島武郎氏 森本厚吉氏 共著) 一部 定價 三十二 錢  
郵稅 六 錢

右書籍は特に學生の爲めに出版せられたる者なれば金員請取次第喜んで郵送の勞を取るべし

一 ドラモンド傳(柏井圓氏著) 一部 定價 四十 錢  
郵稅 六 錢



